



第13回 イザ！カエルキャラバン！ in 一寺言問2021 を開催しました！

No. 63



安心と暮らしの町、下町の手にあわせて

防災まちづくり瓦版

発行／一寺言問を防災のまちにする会

令和4年1月1日

[HP] <http://hitokotokai.com>

オンラインと現地によるこども向け防災体験ワークショップ「イザ！カエルキャラバン！」を開催しました！

2021年12月に13回目の「一寺言問を防災のまちにする会」が主催することも向け防災体験ワークショップ「イザ！カエルキャラバン！」を開催しました。今回は、昨年に引き続きコロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、「オンライン防災体験（6日～12日）」と、「現地（一寺言問集会所）防災体験（12日）」を行いました。

今回のオンライン防災体験では、一言会、地域の防災関連団体や大学生などが防災体験動画を作成しました。動画は、YouTubeの他、墨田区内の小学校の協力を得て、学校内のオンラインシステム（ロイノート）を活用させていただけたことで、多くのこどもたちに防災体験動画を見られました。

現地防災体験では、一寺言問集会所において、ジャッキアップやロープ結びなどの防災体験と、オンライン防災体験動画を見て集めたキーワードをお菓子や防災グッズなどと交換する「交換会」を行いました。当日は天気もよく、たくさんのおもたがイザ！カエルキャラバン！に参加してもらえました。オンライン防災訓練動画は、一言会ホームページから見る事ができるので、まだ見てない人はぜひご覧ください。



↑ 現地防災訓練の様子

↑ オンライン防災訓練の動画

イザ！カエルキャラバン！とは

イザ！カエルキャラバンとは阪神・淡路大震災の被害者の方々の体験をもとに、いざ！という時に必要となる知識や情報を楽しみながら学習できる、体験型の防災訓練プログラムです。このプログラムは、阪神・淡路大震災の教訓を風化させず、次世代につなげていくために開発され、神戸市内の小学校の防災訓練の一環として授業でも取り入れられています。また、全国各地、海外でも開催されています。



一寺言問を防災のまちにする会について

「一寺言問を防災のまちにする会（通称：一言会）」は百年後にこどもたちに残せるまちを目指して、地域で取り組む防災活動を展開しています。今回の防災訓練の他にもいろいろな活動を行っています。ご興味ある方は、下記の電話番号にお問い合わせください。（090-2524-0052 佐原）

いちでらことい
一寺言問／防災まちづくり瓦版
編集／一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行／一寺言問を防災のまちにする会
代表 青木 隆雄
連絡先／墨田区都市整備部都市整備課
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel (5608)6261

まちがどニュース

楽しい収穫祭!

一言会の名物事業・向島有季園(ゆうきえん)で、10月16日、33回目の収穫祭が開かれました。スカイツリーを望むぜいたくな路上パーティーです。豪華なワインの差し入れや、園で採れたばかりの野菜入りのBBQ(バーベキュー)は、少しワイルドで、ちょいとレ스토랑の味でした。



収穫祭の様子

この冬は二年に一度の申し込みチャンス(別掲)です。あなたも、仲間入りしませんか。都会のオアシス・有季園で手作り野菜に挑戦して、親戚・友人を羨ましがらせましょうよ。

意外にむずかしい!

向島五東町会の言問クラブ(会長・遠藤滉一さん会員約50名)では、毎月、「輪投げ」の練習をしています。近々コンクールが開催されますので、優勝めざして全員がトレーニング中です。



輪投げの練習の様子

木守柿(こもりがき)

鳩の街通り商店街に面したSさん宅。百目柿が1つ。冬、餌に困る小鳥たちのために、採らずに残してあるのです。これが、優しさで温かさに満ちた、私たちの愛する下町・向島の本当の姿です。



Sさん宅の木守柿

千葉大学墨田サテライトキャンパス開設

墨田区文花の旧中小企業センターの建物を活用して、2021年4月1日、「千葉大学墨田サテライトキャンパス(地下1階、地上5階)」が開設されました。また、2020年4月に開学した「情報経営イノベーション専門職大学(略称IU)」や隣接する「あずま百樹園」と一体的に整備して、地域と大学の交流空間となる「キャンパスコモン」を整備する計画が進められています。

千葉大学墨田サテライトキャンパスは、千葉大学10学部 of 強みを生かし「デザイン・リサーチ・インスタイト(略称d r i)」の拠点施設としての役割を果たし、デザイン・建築等について研究できる施設です。

千葉大学墨田サテライトキャンパスのコンセプトは、「生活の全てをシミュレートする」です。産学官連携を想定して、墨田区や地元企業と連携した実践的な教育研究が行われていく予定です。

墨田区に大学ができたことで、今後、地域と大学の連携により、デザイン・建築・都市の分野において、地域の課題解決、さらに安全・安心して暮らせるまちになることが期待されます。



千葉大学墨田サテライトキャンパス

私がまちづくりスタッフです。

その53

前田 英輝 さん

(元・向島5丁目在住)



東向島3丁目と向島5丁目に約10年程住んでいました。大学で木造密集市街地の研究をしていたことから、就職を機に向島に住むようになりました。就職先であるまちづくりに関する会社で働いていた際に、一言会のメンバーと知り合い、一言会の運営のお手伝いをするようになりました。職場の転勤などで向島を離れている時もありましたが、最近では、リモート会議環境が整備されてきたので、遠方からでも運営をお手伝いすることができました。

昨今はコロナウイルス感染拡大により、一言会の活動が困難な状況ですが、一寺言問地区が100年先も安全・安心して暮らせるまちを目指し、新しい活動につなげていきたいです。また、現在、私は向島に住んでいませんが、今後も一言会の運営を支援していければと考えています。

12月某日

有季園利用者の募集

あなたも向島有季園(向島5-1-35)で楽しい野菜作り・花づくりを体験してみませんか。

ご希望の方は、官製はがきに住所・氏名・電話番号をご記入の上、お申込みください。

応募多数の場合は、2月12日(土)午後2時、「公開抽選会」を行います。抽選場所は向島有季園です。



【利用期間】

令和4年4月1日～令和6年3月31日

【利用料】

なし

【応募要件】

一言地区(堤通一丁目、東向島一・三丁目、向島五丁目)にお住いの方

【申し込み先】

〒131-0032

墨田区東向島1-8-5

一言会会長 青木 隆雄

【締切り】

令和4年1月31日(月)

※利用者は次の事項を守ってください。

- ☆ 二年間、本人が責任をもって利用する。
- ☆ 年2回開催の利用者会議に出席する
- ☆ 6月の園周の生垣の剪定に参加する

お問い合わせは 有季園担当理事 阿部
電話 080・3558・1941